

平成26年度 第四次千葉県障害者計画進捗状況

（評価） 平成26年度 実績の達成状 況	A 目標値の100%以上の達成率
	B 目標値の80%以上100%未満の達成率
	C 目標値の60%以上80%未満の達成率
	D 目標値の30%以上60%未満の達成率
	E 目標値の30%未満の達成率 － 達成率による自己評価ができない

項 目			23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（目標）	26年度（実績）	評価	成果状況等
第2章 障害のある人もない人も共に生きる地域社会の実現に向けて									
1	千葉県自立支援協議会の部会数		4 部会	5 部会	5 部会	5 部会	6 部会	A	入所・地域移行等WTを組織した。
2	相談支援アドバイザー登録者数		32 人	32 人	32 人	35 人	33 人	B	概ね計画どおり進捗している
3	相談支援アドバイザー派遣延人数		5 人	9 人	25 人	25 人	8 人	D	市町村における本事業のニーズが一時的に低下したと思われる。状況分析のうえ、運営内容を見直したい。
4	相談支援従業者の養成	養成人数	223 人	567 人	629 人	230 人	567 人	A	計画どおり進捗している。
		研修回数	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回	A	計画どおり進捗している。
5	計画相談支援事業所箇所数		105 箇所	196 箇所	271 箇所	230 箇所	326 箇所	A	計画どおり進捗している。
6	地域相談支援事業所箇所数		－ 箇所	99 箇所	117 箇所	40 箇所	123 箇所	A	計画どおり進捗している。
7	高次脳機能障害支援普及事業等	実施箇所数	4 箇所	4 箇所	4 箇所	4 箇所	4 箇所	A	計画どおり進捗している。
		相談件数	7,000 人	8,560 人	9,244 人	9,000 人	16,762 人	A	計画どおり進捗している。
8	成年後見制度利用支援事業実施市町村数		48 市町村	54 市町村	54 市町村	54 市町村	54 市町村	A	計画どおり進捗している。（全市町村）
9	広域後見支援センター設置箇所数		10 箇所	10 箇所	10（うち1箇所は市町単位に移行） 箇所	10 箇所	10（うち5箇所は市町単位に移行） 箇所	A	10箇所設置した広域後見支援センターのうち、半数のセンターについては、各市町単位での設置に移行した。平成27年度当初には全てのセンターが各市町村単位に移行される予定となっている。
10	日常生活自立支援事業利用件数		560 件	626 件	728 件	800 件	884 件	A	高齢化の進展に伴い、着実に需要が増加しており、今後も体制整備を進めていく。
11	県が共催・後援する障害者施策に係るタウンミーティング・シンポジウム等の回数		7 回	13 回	6 回	50 回	17 回	D	各種大会、講演会等を後援した。今後も当事者団体等が開催するイベントには積極的に関わっていきたい。 ※県が主催のものは含まず。69番参照
12	障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例を知っている県民の割合		19.0 %	－ %	18.3 %	平成26年度までに20%	－ %	－	本年度は調査ができなかったが、五次計画において目標設定の上、条例の周知啓発に取り組んでいく
13	障害者条例に係る相談件数のうち地域相談員が関わった件数の割合		8.2 %	17.1 %	15.5 %	平成26年度までに30%	19.9 %	C	引き続き地域相談員との連携を図り、30%を目指すしていく。

項 目			23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（目標）	26年度（実績）	評価	成果状況等
第3章 障害のある子どものための施策の展開									
14	重症心身障害児施設数		平成26年1月の開設を目標に東葛区域での整備を図ります				1 施設	A	H26.4 東葛医療福祉センター 光陽園 柏市で開設
15	療育支援コーディネーターの配置人数		3 人	6 人	6 人	16 人	6 人	D	拡充に向け市町村に働きかけを行っていく。
16	障害児等療育支援事業	実施箇所	70 箇所	77 箇所	77 箇所	85 箇所	65 箇所	C	受託を希望する事業者が想定より少なかったため計画どおり進捗していない。
		相談件数	28,422 人	29,167 人	29,806 人	28,400 人	28,212 人	B	計画どおり進捗している。
17	発達障害者支援センター運営事業	相談者数	3,434 人	3,108 人	2,752 人	2,900 人	2,594 人	B	研修講師の派遣等間接支援に注力した結果、実績の低下を招いた。
		研修受講者数	5,822 人	8,549 人	5,977 人	8,300 人	7,907 人	B	概ね計画どおり進捗している
18	児童発達支援センター箇所数		24 箇所	28 箇所	28 箇所	34 箇所	30 箇所	B	概ね計画どおり進捗している。
19	児童発達支援事業所箇所数		140 箇所	256 箇所	317 箇所	250 箇所	434 箇所	A	計画どおり進捗している。 注：26年度実績内訳（児童発達支援事業所153、放課後等デイサービス281）。
20	特別支援教育コーディネーターの指名		97.2 %	97.3 %	98.2 %	100 %	98.6 %	B	平成26年度は、公立小中高等学校においては、指名率が100%であるものの、公立幼稚園においては、86.0%であった。更なる指名率の向上に努めたい。
21	エレベーターが整備されている県立高等学校	学校数	6 校	9 校	11 校	増加に努めます	13 校	A	25年度以降、整備箇所数を増やすことができた。
		整備率	4.8 %	7.2 %	8.8 %	増加に努めます	10.4 %	A	25年度以降、整備箇所数を増やすことができた。
22	多機能型トイレが整備されている県立高等学校	学校数	80 校	83 校	84 校	増加に努めます	85 校	A	25年度以降、整備箇所数を増やすことができた。
		整備率	64 %	66.4 %	67.2 %	増加に努めます	68 %	A	25年度以降、整備箇所数を増やすことができた。

<div> <div>（評価）</div> <div>平成26年度実績の達成状況</div> </div>	<div> <div>A 目標値の100%以上の達成率</div> <div>B 目標値の80%以上100%未満の達成率</div> <div>C 目標値の60%以上80%未満の達成率</div> <div>D 目標値の30%以上60%未満の達成率</div> <div>E 目標値の30%未満の達成率</div> <div>- 達成率による自己評価ができない</div> </div>
---	---

項 目		23年度（実績）		24年度（実績）		25年度（実績）		26年度（目標）		26年度（実績）		評価	成果状況等
第４章 障害のある人のための施策の展開													
１．健康と生活支援													
グループホーム・ケアホーム・生活ホーム・ふれあいホームの定員		2,680	人	3,066	人	3,462	人	3,350	人	3,878	人程度 （概数）	A	調査中。 目標は達成する見込み。
上記のうち精神障害のある人が利用できるグループホーム等の定員		1,344	人	1,700	人	1,801	人	1,700	人	調査中	人	A	調査中 目標は達成する見込み
地域活動センター所在市町村数		36	市町村	35	市町村	35	市町村	54	市町村	35	市町村	C	市町村が地活センターから障害福祉サービス事業への移行を促していることから計画どおり進捗していない。県単加算の活用により実施市町村を拡大していきたい。
ホームヘルパーの養成	養成人数	68	人	65	人	70	人	100	人	51	人	D	精神障害のある人への支援に特化したホームヘルパーの研修。実習の受入施設を十分に確保できず、定員が目標値を下回ってしまった。
	研修回数	2	回	2	回	2	回	2	回	2	回	A	回数は計画どおり進捗している。
同行援護従事者の養成	養成人数	89	人	575	人	967	人	500	人	880	人	A	計画どおり進捗している。
	研修回数	3	回	30	回	44	回	20	回	49	回	A	計画どおり進捗している。
行動援護従事者の養成	養成人数	30	人	31	人	19	人	30	人	-	人	-	国による研修制度の見直しに伴い、類似する「強度行動障害支援者養成研修（基礎）」を替わりに開催した。
	研修回数	1	回	1	回	1	回	1	回	-	回	-	国による研修制度の見直しに伴い、類似する「強度行動障害支援者養成研修（基礎）」を替わりに開催した。
施設入所者数		4,863	人	-		4,566	人	4,700	人	4,518	人	A	計画どおり進捗している。
発達障害に対応できる相談支援機関等数		15	箇所	16	箇所	40	箇所	23	箇所	40	箇所	A	計画どおり進捗している。
サービス管理責任者の養成	養成人数	699	人	621	人	664	人	515	人	660	人	A	計画どおり進捗している。
	研修回数	1	回	1	回	1	回	1	回	1	回	A	計画どおり進捗している。

項 目		23年度（実績）		24年度（実績）		25年度（実績）		26年度（目標）		26年度（実績）		評価	成果状況等
2. 雇用・就業													
障害者就業・生活支援センター事業		箇所数	16箇所	16箇所	15箇所	16箇所	16箇所	16箇所	A	目標を達成した。			
		登録者数	3,500人	4,984人	6,059人	5,500人	6,910人	A	計画どおり進捗している。				
県内の特例子会社等数		25箇所	25箇所	26箇所	30箇所	26箇所	B	引き続き、千葉障害者就業支援キャリアセンターにおける障害者雇用に向けた企業支援に努める					
就労移行支援事業所数		70箇所	91箇所	99箇所	75箇所	113箇所	A	計画どおり進捗している。					
福祉施設からの就職者数（※）		428人	526人	566人	400人	526人	A	計画どおり進捗している。					
※の目標達成のための支援等の目標値	障害者就業・生活支援センターを利用した福祉施設利用者	186人	204人	182人	400人	180人	D	就労移行支援事業所への調査を行い、課題を明らかにし、関係機関との連携強化等、支援の改善を図る。					
	ハローワーク経由で就職する福祉施設利用者	322人	374人	440人	400人	367人	B	就労移行支援事業所への調査を行い、課題を明らかにし、関係機関との連携強化等、支援の改善を図る。					
	委託訓練事業を受講して就職する福祉施設利用者	8人	8人	5人	120人	19人	E	支援機関と連携し、委託訓練の周知に努める					
	トライアル雇用を開始した福祉施設利用者	125人	62人	32人	200人	43人	E	就労移行支援事業所への調査を行い、課題を明らかにし、関係機関との連携強化等、支援の改善を図る。					
	ジョブコーチの支援を受ける福祉施設利用者	75人	69人	45人	200人	43人	E	就労移行支援事業所への調査を行い、課題を明らかにし、関係機関との連携強化等、支援の改善を図る。					
就労継続支援事業所および授産施設の一月当たりの平均工賃		11,996円	12,819円	12,595円	18,000円	調査中	-	調査中					
特別支援学校高等部卒業生就職率		31%	34%	33.9%	30%	39.1%	A	平成26年度の特別支援学校卒業生全体に占める就職率は39.1%で、前年度と比較し5.2ポイント上昇した(H27.5.1現在)。平成27年度も千葉県特別支援学校就労支援ネットワークの取組を推進し、関係機関との連携を深め、効果的な就労支援を展開していきたい。					
障害者高等技術専門校の就職率		65.1%	64.6%	79.3%	80%	85.4%	A	関係機関との連携、企業の障害者雇用理解促進及び高等技術専門校の周知に努めたい。					
3. 余暇													
障害者スポーツ指導員の養成者数		197人	282人	339人	200人	387人	A	計画どおり進捗している。					

<p>（評価）</p> <p>平成26年度実績の達成状況</p>	<p>A 目標値の100%以上の達成率</p> <p>B 目標値の80%以上100%未満の達成率</p> <p>C 目標値の60%以上80%未満の達成率</p> <p>D 目標値の30%以上60%未満の達成率</p> <p>E 目標値の30%未満の達成率</p> <p>- 達成率による自己評価ができない</p>
----------------------------------	--

項 目		23年度（実績）		24年度（実績）		25年度（実績）		26年度（目標）		26年度（実績）		評価	成果状況等
4. 生活環境													
ガイドヘルパーの養成	養成人数	520	人	328	人	296	人	440	人	267	人	D	指定した民間事業所等で実施している。平成23年10月より同行援護のサービスが開始され、同行援護従事者研修が必須とされたことにより、本研修の受講者が減少傾向にあると思われる。
	研修回数	29	回	23	回	20	回	22	回	17	回	C	同上
同行援護従事者の養成（再掲）	養成人数	89	人	575	人	967	人	500	人	880	人	A	計画どおり進捗している。
	研修回数	3	回	30	回	44	回	20	回	49	回	A	計画どおり進捗している。
盲導犬の育成頭数		41	頭	43	頭	44	頭	51	頭	45	頭	B	育成施設での利用者研修を経て、給付決定した頭数。前年度より増加しているが、目標の給付頭数には達しなかった。今後とも周知、マッチングに努めたい。
多機能トイレが整備されている県立公園	公園数	10	箇所	10	箇所	10	箇所	増加に努めます		10	箇所	-	公園の新規整備及び改修時期に併せてトイレを整備することとしており、平成26年度については該当整備が無かった。（公園数は整備済み公園数）
	整備率	67	%	67	%	67	%	増加に努めます		67	%	C	15の県立公園に対して10公園で整備されている。
障害者駐車場が整備されている県立公園	公園数	11	箇所	11	箇所	11	箇所	増加に努めます		12	箇所	A	公園の新規整備及び改修時期に併せて駐車場を整備することとしており、平成26年度については1公園で整備した。（公園数は整備済み公園数）
	整備率	73	%	73	%	73	%	増加に努めます		80	%	B	15の県立公園に対して12公園で整備されている。（未整備1、駐車場なし1、未供用公園1）
県営住宅のうちバリアフリー化された住宅数		4,054	戸	4,080	戸	4,537	戸	4,737	戸	4,296	戸	B	概ね計画どおり進捗している。
エレベーターが整備されている県立高等学校（再掲）	学校数	6	校	9	校	11	校	増加に努めます		13	校	A	25年度以降、整備箇所数を増やすことができた。
	整備率	4.8	%	7.2	%	8.8	%	増加に努めます		10.4	%	A	25年度以降、整備箇所数を増やすことができた。
多機能トイレが整備されている県立高等学校（再掲）	学校数	80	校	83	校	84	校	増加に努めます		85	校	A	25年度以降、整備箇所数を増やすことができた。
	整備率	64	%	66.4	%	67.2	%	増加に努めます		68	%	A	25年度以降、整備箇所数を増やすことができた。
基本構想作成市町村数		14	市町村	14	市町村	14	市町村	14	市町村	14	市町村	A	平成23年度に目標を達成した。
主要駅エレベーター・エスカレーターの整備率		86.2	%	87.6	%	90.3	%	平成32年度末までに100%を目指します	%	92.2	%	B	計画どおり進捗している。 ※主要駅＝乗降客数3,000人/日以上 の駅（H22以前は5,000人以上の駅を対象としていた）
乗り合いバス車両のノンステップバスの導入率		33.7	%	36.6	%	44.5	%	平成32年度末までに70%を目指します	%	H27.10に公表予定	%	-	平成26年度は10事業者、合計68台のノンステップバスを導入する事業に対して補助を実施する見込みとなっている。
5. 災害時における障害のある人への支援体制の整備につ													
災害時の要援護者避難支援プランの個別計画策定着手市町村数		37	市町村	40	市町村	44	市町村	54	市町村	-	市町村	-	平成26年度から制度変更があった。 ※災害対策基本法の改正及び「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針（H25.8内閣府）」により、市町村は避難行動要支援者名簿に基づく避難支援の個別計画の策定を求められる。H26年度中に6市町村が策定済み、他に8市町村が策定着手。

(評価) 平成26年度 実績の達成状況	A 目標値の100%以上の達成率 B 目標値の80%以上100%未満の達成率 C 目標値の60%以上80%未満の達成率 D 目標値の30%以上60%未満の達成率 E 目標値の30%未満の達成率 － 達成率による自己評価ができない
---------------------------	---

項 目		23年度（実績）		24年度（実績）		25年度（実績）		26年度（目標）		26年度（実績）		評価	成果状況等
6. 情報コミュニケーション													
手話通訳者設置市町村数		26	市町村	26	市町村	27	市町村	24	市町村	27	市町村	A	目標は達成できている。
手話通訳者の養成	養成人数 （累計）	197	人	209	人	236	人	340	人	249	人	C	手話通訳者全国統一試験の難度が高く、合格人数が少ない。今後も、目標に向けて計画的な養成に努める。
	研修回数	2	回	2	回	2	回	2	回	2	回	A	目標は達成できている。
要約筆記奉仕員の養成	養成人数 （累計）	106	人	119	人	137	人	330	人	145	人	D	25年度以降新規の養成を終了しており、従来の受講者のみを対象とした試験を実施したため。
	研修回数	3	回	3	回	－	回	3	回	－	回	－	H25以降制度変更により終了している。
点訳・朗読奉仕員の養成	養成人数 （累計）	725	人	772	人	818	人	851	人	856	人	A	目標は達成できている。
	研修回数	48	回	48	回	40	回	48	回	40	回	B	概ね目標どおり達成できた
盲ろう者通訳・介助員の養成	養成人数 （累計）	134	人	152	人	165	人	200	人	183	人	B	概ね目標どおり達成できた
	研修回数	1	回	1	回	1	回	1	回	1	回	A	目標は達成できている。
第6章 地域生活を実現するための施策と目標													
精神障害者地域移行支援事業実施圏域数		13	圏域	15	圏域	16	圏域	16	圏域	16	圏域	A	計画どおり進捗している。
精神障害のある人の1年未満入院者の平均退院率		72.1	%	69.4	%	71.8	%	1年未満の平均退院率76%	%	69.1	%	B	概ね目標どおり達成できた。今後も長期入院者の減少に努める。
精神障害のある人の高齢長期退院者数		41	人	19	人	25	人	1月当たり49人		58	人	A	計画どおり進捗している。
地域移行支援サービスの利用者数		－	人	317	人	385	人	389人		389	人	A	計画どおり進捗している。
地域定着サービスの利用者数		－	人	751	人	1,721	人	197人		2,086	人	A	計画どおり進捗している。
福祉施設からの地域生活移行者数		132	人	152	人	130	人	18～26年度までの累計 1,500人		104 （累計1367）	人	B	計画どおり進捗している。
一般就労に移行する福祉施設利用者数		428	人	526	人	570	人	400人		調査中	人	－	調査中
第8章 計画を力強く推進していくために													
障害者計画推進のためのタウンミーティングの開催		0	回	0	回	0	回	6回以上		6	回	A	県内6カ所でフォーラムを開催した。